



令和7年(2025年)度
山陽中学校だより(こうき)
令和7年4月7日(月)
第1号 文責 三浦 洋



一始業式 式辞一

令和7年度がスタートしました。満開の桜が、始業式に登校してきた皆さんを出迎えてくれました。そのようななかで、今日、皆さんと再会でき、嬉しい限りです。春休みの間に、特に変わった点はなかったですか？

さて、明日の入学式で、新たに山陽中学校に迎える新入生は334名です。2年生は、344名、3年生は、345名です。全校生は1,023名です。昨年度に引続き、姫路で一番に生徒数が多い大規模校です。皆さんには施設や設備の面で窮屈な思いをさせて心苦しいですが、数は大きな力になります。どうか本年度も多くのなかまと協力して、活気、元気、心意気で頑張ってください。

終業式でお話したように、今年度は、南館1階部分の教室を改修して3年生9クラスが横並びで生活を送ることができます。これで従来通りの1階が3年生、2階が2年生、3階が1年生のクラス配置にもどりました。どの学年も同級生と楽しく仲良く生活してください。

この場を借りて、体育館の空調設備を設置するための工事について連絡させていただきます。すでに春休みから工事が始まっています。工事が完了すれば、2学期からは冷房のきいた体育館でみなさんが活動できるようになります。そのために1学期の間は、運動場や体育館の使用制限がかかります。体育の授業や部活動などで迷惑をかけますが、この工事に対し、理解と協力のほう、よろしくお願いします。

さて、本校の令和7年度の学校経営目標は昨年に引き続き、「ICTを活用し、AIにはできない独自性を発揮できる未来を担う人づくり」としました。あらゆる教育活動を通じて、「自分とは一体何者か」「自分がやりたいことは何か」と自分自身に問いかけながら、独自の当事者性を発揮できるようにICTを活用し、主体的に学んでほしい、との思いをこの目標に込めています。そして、みなさんにはどのような未来を目指すのか、しっかりと考え続けてほしい、と強く願います。

「在りたい自分」や「在りたい社会」は、人それぞれ異なります。皆さんには、社会情勢が激しく変化するなかで、ウェルビーイング（個人や社会のよい状態）を向上させ、持続可能な社会を実現させる、といった自分のためだけでなく、他者の幸せも含めた未来の自分や社会のことを考えてもらいたいです。また、ひとりの力は小さいですが何か問題に直面したときには、自分にできることは何もないと諦めずにみんなのために自分のできることを考えて行動してください。

ここで、南アメリカの先住民に伝わる話を紹介します。それは「ハチドリのひとしずくーいま私にできることー」という山火事に立ち向かうハチドリの話です。

森が燃えていました 森の生きものたちは われ先にと 逃げて いきました
でもクリキンディという名の ハチドリだけは いったりきたり くちばしで水のしずくを一滴ずつ
運んでは 火の上に落としていきます
動物たちがそれを見て 「そんなことをして いったい何になるんだ」といって笑います
クリキンディは こう答えました 「私は、私にできることをしているだけ」

これは、小さなからだのクリキンディが勇気を出してひとりで山火事を消そうと頑張っているということだけを言っているのでしょうか。ほかの動物が火を消さずに逃げ出してしまったと、ほかの動物を責めているのでしょうか。「怒りや憎しみに身をまかせたり、他者を批判したりするひまがあったら、自分ができることを黙々とやっていきましょう」と在りたい社会を担ううえで大切な心構えをクリキンディは示しているような気がします。

結びに、長年にわたり本校がかかっている学校教育目標を皆さんに伝えます。

「命を大切に、思いやりと感謝の心を表現できる生徒の育成」「社会に役立つ人として、前向きな行動がとれる生徒の育成」「目標の実現に向け、主体的に学ぶ生徒の育成」この3つのことは、AIにはできない人間独自の大切な資質・能力です。

本年度も引き続きICTを活用し、ファシリテーションの手法を組み込んだ授業や教育活動を展開します。皆さんには、どうか当事者意識をもって自ら学び、目標に示した3つの生徒像を目指して成長してくれるものと期待しています。それでは、2、3年生の皆さん、明日入学してくる1年生とともに、山陽中の先生たちと、令和7年度の1年間で、頑張っていきましょう。